

3-④ ネットいじめから子どもを守る

■対象：乳幼児～中学生の親 ■時間：60分程度 ■手法：ラベルワーク

学習のねらい ネットいじめの特徴やリスクを出し合い、ネットいじめの怖さについて理解するとともに、子どもたちを守るためにできることを考える。

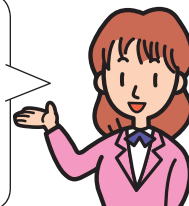
準備するもの 付箋(グループの数×50枚程度) 筆記用具 模造紙(グループに1枚) カード(1人10枚程度) マーカー ワークシート 時計(ストップウォッチ)

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日はネットいじめの特徴やリスクについてみなさんが知っておられることや経験から、ネットいじめの怖さについて考えていきたいと思います。そして、親として、どう子どもたちを守るができるのかを考えていきましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①バースデーチェーン(親学プログラムP100)</p> <p>②グループ分け</p> <p>③自己紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①では「誕生日順」などで並びかえる。 ・4～5人のグループに分ける。 ・「ネットと聞いて思い浮かぶこと」を紹介しながら、自己紹介してもよい。 	
40分	<p style="text-align: center;">≪講座の前にルールとマナーを確認しましょう≫</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>①ネットいじめの事例を聞く</p> <p>②ネットいじめの特徴やリスクについて、個人で付箋に記入する</p> <p>③グループのメンバーで付箋を出し合い、特徴やリスクについて分類・整理する</p> <p>④ネットいじめから、わが子を守るために家庭でできることを考え、グループで話し合う</p> <p>⑤まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①の事例は、【参考資料】をもとに話す。 ・②では、体験談や知人の話、マスコミ等の情報などから特徴やリスクを書くように伝える。なかなか書けない人には、①で伝えた例を参考にしてもらおう。 ・③の終わりにワークシートを配り、特徴やリスクの例を見てもらおう。話し合いで出なかったものについては、補足説明をする。 ・④は、カードを使って進める。 	<p>付箋 筆記用具 模造紙 マーカー ワークシート カード</p>
8分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①今日の学習をとおして、今後わが子と一緒に取り組みたいことや、子どもに伝えたいことをワークシートに記入する</p> <p>②グループで発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークをふり返り、今後について考える時間をとる。 ・全体に広げることができれば、取り上げてもよい。 	ワークシート
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか？ 私たちを取り巻くネット環境は、とても便利です。しかし、その使い方を間違えるとネットいじめのように大変危険なことに巻き込まれる可能性があります。今日話し合われたことを家庭でも話題にいただき、ネットいじめから子どもたちをしっかりと守っていきましょう。</p> <p style="text-align: center;">≪講座の最後にルールとマナーを確認しましょう≫</p>		

3-④ ネットいじめから子どもを守る

① ネットいじめの事例を聞く（4分）

パソコン、携帯電話やスマートフォンをつかった、インターネットやSNSは非常に便利でおもしろい反面、大変な危険が潜んでいると言われています。その中でも今、問題になっている「ネットいじめ」の特徴とそのリスクについて、これからみなさんと考えてみたいと思います。まず、「ネットいじめ」とはどのようなものでしょうか？例えば次のような事例があります《P 113以降の【参考資料1】を参考に、数例伝える》



② ネットいじめの特徴やリスクについて、個人で付箋に記入する（7分）



このような「ネットいじめ」には、どんな特徴やリスクがあるのでしょうか？最近のマスコミ等で取り上げられて知っていることや、知人から聞いたこと、経験から知っておられることなど、何でもかまいませんので、思いついたことを付箋に書いてください。ただし、一枚の付箋には一つのことを簡単に書いてください。時間は5分です。

※ 例えば…

知らない間に広まる

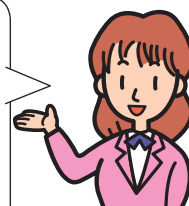
知らない間に広まり、ひどい書き込みをされる

○ 1枚に1つのこと

× 1枚に複数のこと

③ グループのメンバーで付箋を出し合い、特徴やリスクについて分類・整理する（14分）

次に、グループ活動に入ります。まず、グループ内で発表の順番をきめてください。最初の方が1枚の付箋を模造紙の上に貼りながら、簡単に説明します。その時、メンバーの中に似た内容の付箋があれば、説明をしながらその付箋の近くに貼ります。似た内容の付箋がなくなったら、次の人が別の1枚を貼り、同じように説明をします。これを繰り返して、模造紙の上いくつもの島をつくります。時間は12分です。
(③の終わりにワークシートを配り、特徴やリスクの例を見せよう。話し合いで出なかったものについては、補足説明を簡単にします。)



④ ネットいじめから、わが子を守るために家庭でできることを考え、グループで話し合う（14分）



現れてきた特徴やリスクを受けて、私たち親は、わが子を守るためにどのようなことができるでしょうか。
まず、個人の考えを付箋と同じように1枚のカードに1つずつ書いてみましょう。何枚書かれてもよいです。時間は7分です。
次に、1人ずつカードを紹介し合ってください。時間は7分です。

⑤ まとめ（1分）



それでは、グループのメンバーの考えも参考にして、今後わが子と一緒に取り組んでいきたいことやお子さんに伝えたいことについて考えたことをワークシートに書いてください。

3-④ 「ネットいじめから子どもを守る」ワークシート

ネットいじめから子どもを守る

《ネットいじめの特徴やリスク（例）》

依存性

- 不安・心配からの依存症

消せない

- 問題の長期化
- 消えない
- 消すことが難しい

匿名性

- チェーンメール^{※3}
- 嫌がらせメール

軽はずみから重大事件へ

- 個人情報の流出・拡散
- 動画・画像の流出・拡散
- 性的情報の流出・拡散 軽い気持ち
- 悪ふざけ 罪悪感が低い

みえない

- 誤解をまねきやすい
- 誹謗（ひぼう）・中傷
- 発見が難しい 大人が気づきにくい
- いつでもできる どこでもできる
- なりすましメール^{※1}
- 無料通話アプリを使った仲間はずし^{※2}

速い

- 止めにくい
- 瞬時に広がる
- 世界中に広がる

※1 特定の人物になりすましてメールを送りその人の社会的信用を落としめる行為等

※2 グループ内のやりとりで、1人を孤立させたり、仲間はずれにしたりする行為等

※3 「このメールを何人かに転送してください」等とメールの転送を要請するメールのこと。特定の人の悪口を広めるもの等、悪質なものもある

ワーク

今後わが子と一緒に取り組んでいきたいことやお子さんに伝えたいことについて考えたことを書きましょう。



— ひとりで悩まず相談しよう！ —

- 子どもの人権110番 0120-007-110（全国共通無料）
- インターネット人権相談受付窓口
（パソコン） <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>
（携帯電話） <https://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>
- みんなの人権110番 0570-003-110（全国共通ナビダイヤル・有料）
- 女性の人権ホットライン 0570-070-810（全国共通ナビダイヤル・有料）